

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	長期療養が必要な労働者のための復職等支援			担当部局庁	労働基準局		作成責任者				
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	労災管理課		志村 幸久				
会計区分	労働保険特別会計労災勘定										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働者災害補償保険法第29条第1項第1号			関係する計画、通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	長期療養が必要な疾病を抱えた労働者の復職や復職後の就労継続の支援を行っている団体や労働者の復職を受け入れた実績のある企業等に対して労働者の復職等支援に係る取組等についてヒアリング調査を行い、その結果を検討委員会で議論し、労働者の復職等支援に係る課題やその解消策を取りまとめることを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1) 復職等支援を行っている団体等から、復職等支援に係る取組内容等について、ヒアリング調査を実施し、その結果についてとりまとめ (2) (1)で取りまとめた結果について、検討を行う検討委員会の開催・運営 (3) (2)の検討委員会で議論について取りまとめた報告書の作成										
実施方法	委託・請負										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求	-	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	-	-	-	
		計	0	0	55	0	0	0	0	0	
	執行額	-	-	4	-	-	-	-	-		
	執行率 (%)	-	-	7%	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	-	-	
	本事業において、ヒアリング調査を実施した者に、本事業で取りまとめた報告書を送付し、「今後の復職等支援に有効かどうか」についてのアンケートを行い、「有効である。」旨の回答を、回答があった者の80%から得る。	本事業において、ヒアリング調査を実施した者に、本事業で取りまとめた報告書を送付し、「今後の復職等支援に有効かどうか」についてのアンケートを行い、「有効である。」旨の回答を得る。	成果実績	%	-	-	100	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	80	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	125	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	労働者の復職等支援に係る取組に係る課題やその解消策を取りまとめた報告書を作成し、公表する。	活動実績	部	-	-	1	-				
		当初見込み	部	-	-	1	-				
単位当たりコスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込					
	X: 執行額 / Y: 報告書作成数	単位当たりコスト	円/部	-	-	4百万	-				
		計算式	X/Y	-	-	4百万円/1部	-				
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
				平成27年度限りの事業							
	計	0	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	政策大目標3 労働災害に被災した労働者等の公正な保護を行うとともに、その社会復帰の促進等を図ること。							
	施策	被災労働者等の社会復帰促進・援護等を図ること(施策目標Ⅲ-3-2)							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		労災保険の社会復帰促進等事業のうち成果目標を達成した事業の割合(目標達成事業/全事業)	実績値	%	87.8	82.6	81.4(見込)	-	-
			目標値	%	84.7	87.8	85	-	前年度以上 (27年度からは85%)
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	本事業は、平成27年度より、長期療養が必要な疾病を抱えた労働者の復職等支援に係る課題やその解消策を取りまとめることを目的とする事業であり、平成27年度は事業目標を達成していることから、測定指標に寄与している。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項目	評価			評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○			脳・心臓疾患や精神疾患等の作業関連疾患の増加や近年の医療技術の進歩等を背景に、治療を受けながら就労する労働者が存在する中で、労働者、企業、産業医・産業保険スタッフ、医療機関等の取組や連携が十分でない状況にあることから、病気により休業・休職したとしても職場復帰して働き続けられる環境を整備することが求められており、国民や社会のニーズは高く、当該ニーズを的確に反映した事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			上記のとおり、現状においては地方自治体や民間企業等に委ねて実施する状況になく、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○			上記のとおり、治療を受けながら就労する労働者の復職等支援について調査・研究を行う本事業は、優先度が高い。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○			総合評価落札方式による一般競争入札を採用し、契約相手方を選定した。				
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			本事業は、労災による被災者援護のための事業であり、事業者負担として行うことが妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-			-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			-				
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			報告書作成のために必要な調査、検討委員会を開催するために必要な費用等に限定されている。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△			本事業は、長期療養者の復職支援を行うモデル事業として予算要求し、平成27年度に2回調達を実施したが、応札者がおらず不調となっていた。そこで、モデル事業ではなく、ヒアリング調査を実施し、検討会での議論を踏まえ、労働者の復職等支援に係る課題やその解消策を取りまとめた報告書を作成するよう仕様を変更したため、必要な費用が大きく減額することとなり、不用率が大きくなった。					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○			総合評価落札方式による一般競争入札にて委託業者の選定を行っている。					
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○			見合ったものとなっている。					
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			-					

事業の有効性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおり、労働者の復職等支援に係る課題やその解消策を取りまとめた報告書を作成し、かつ、ヒアリング調査を実施した者のうち回答があった者の全てから、報告書の内容について「有効である。」旨の回答を得ている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	労働者の復職等支援に係る課題やその解消策を取りまとめた報告書は広く公開しており、事業場の周知啓発に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業については、一般競争入札(総合評価落札方式)により受託者を決定することとしており、コスト削減に努める一方、成果目標及び活動指標ともに達成しており、効果的・効率的に事業が実施されている。			
	改善の方向性	平成27年度限りの事業			
外部有識者の所見					
終了年度は了解した。資金の流れAの落札率の低さの精査をしていただきたい。(井出 健二郎)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
定予了終	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り終了	本事業の一般競争入札では、2社からの入札があったところ、1社については予定価格を超過していたため、落札額の低い本委託事業者が落札したのだが、事業は当初の予定通りの成果を達成しており、大きなコスト削減効果があった。本事業は、予定通り、平成27年度をもって終了する。				
備考					
平成27年度限りの事業。 本事業は、平成27年度に2回調達を実施したが、応札者がおらず不調となっていた。このため、1回目の調達を含む全ての入札説明書を手交した業者から意見を聴取したところ、ほとんどの業者より「新たに復職支援コーディネーターを確保し、医療機関と事業場の橋渡しをさせ、長期療養者の復職支援を行うモデル事業を実施することは、業務内容が多岐にわたり、事業規模が大きく実施できない。」との回答があった。このため、モデル事業を行わず、ヒアリング調査を実施し、検討会での議論を踏まえ、労働者の復職等支援に係る課題やその解消策を取りまとめた報告書を作成するよう仕様を変更した。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新27-0021
※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">厚生労働省 4百万円</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> { 事業の管理・受託者への指導等 } </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> ↓ </div> <div style="text-align: center;"> <p>【総合評価入札】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">A.東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 4百万円</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>(1) 復職等支援を行っている団体等から、復職等支援に係る取組内容等について、ヒアリング調査を実施し、その結果についてとりまとめ (2) (1)で取りまとめた結果について、検討を行う検討委員会の開催・運営 (3) (2)の検討委員会での議論について取りまとめた報告書の作成</p> </div> </div>				

